

信仰・不信仰とイエス様

イエスは言われた...「信じる者には、どんなことでもできるのです。」
子の父は叫んで言った。「信じます。不信仰な私をお助けください。」

マルコ 9:14:29

「信仰」って？

説教者 A. B. シンプソン: 信仰は望むことではありません。未来のものを単純に期待することでもうりません。それは真に、そして確実な方法で約束されたものを、今受けることです。それは期待することではなく、受けることです。信仰は見えるものではありません。なぜなら、それは見えないものを取り扱っているからです。見えるものは信仰の領域ではありません。目に見えるものは信仰ではなく、証拠の問題です。信仰は神のみことば以外に何の証拠をも求めません。そして、それ自体が保証です。

弟子たち

マルコ 3:15 「悪霊を追い出す権威を持たせた」

マルコ 6:13 「悪霊を多く追い出し、大ぜいの病人に油を塗っていやした。」

マルコ 9:19 「イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な世だ。いつまであなたがたといっしょにいななければならないのでしょうか。いつまであなたがたにがまんしていなければならないのでしょうか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」

父親

マルコ 9:22 「もし、おできになるものなら、私たちをあわれんで、お助けください。」

v.23 するとイエスは言われた。「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」

v.24 するとすぐに、その子の父は叫んで言った。「信じます。不信仰な私をお助けください。」

信仰と祈り

マルコ 9:28-29 「弟子たちがそっとイエスに尋ねた。「どうしてでしょう。私たちには追い出せなかったのですが。」すると、イエスは言われた。「この種のものは、祈りによらなければ、何によっても追い出せるものではありません。」

ハドソン・テラーは、ある時期、毎日が、その日その日の罪と失敗と力不足を感じ、どうしたら信仰を強くしてもらえるだろうかと悩んでいました。

そんな時、友人マッカーシーからの手紙、「信仰を追い求めようと努めることによってではなしに、誠実なお方によりたのむことによって」ということばによって目が開かれました。

そして、「私は不真実であっても、彼(神)は常に真実である」(2 テモテ 2:13) というみことばによって、イエスを仰ぎ望んで悟ることができました。また「わたしはあなたを離れない」(ヘブル 13:5) という約束のことばによって、主が自分と共に住んでくださる確信を得ました。

信仰とは待ち望んでいるものに対して、必ずそれを得ると確信して疑わないことです。